

平成 31 年 2 月 21 日

## 2018 卒業後アンケート集計・分析

IR 室

戸板女子短期大学の学びでどのような力が身についたか、また、卒業後どのように役立ったか、以下の卒業年度の卒業生に向けて郵送によるアンケート調査を行った。

直近の 3 か年（平成 29 年度～平成 27 年度）、平成 21 年度から昭和 59 年度の（5 か年ごと：平成 21 年度、16 年度、11 年度、6 年度、1 年度、昭和 59 年度）の各学科の卒業生に向けて実施した。（送付資料は、別紙参照）

平成30年度 寄付依頼書発送者数				
				2018.9.18現在
昭和59年3月卒	英文科35回	被服科34回	生活科34回	
	107	212	128	447
平成1年3月卒	英文科40回	被服科39回	生活科39回	
	119	188	144	451
平成6年3月卒	英文科45回	被服科44回	生活科44回	
	95	144	137	376
平成11年3月卒	英文科50回	被服科49回	生活科49回	
	90	129	138	357
平成16年3月卒	国コミ1回	服飾芸術科2回	食物栄養科3回	
	74	125	96	295
平成21年3月卒	国コミ6回	服飾芸術科7回	食物栄養科8回	
	34	65	111	210
平成27年3月卒	国コミ12回	服飾芸術科13回	食物栄養科14回	
	57	91	141	289
平成28年3月卒	国コミ13回	服飾芸術科14回	食物栄養科15回	
	68	113	152	333
平成29年3月卒	国コミ14回	服飾芸術科15回	食物栄養科16回	
	108	168	148	424
合計	752	1,235	1,195	3,182

平成 30 年 10 月初旬に 3,182 通を郵送し、20 通（0.6%）の回答があった。

本学のディプロマ・ポリシーは、2017 年度設定したものであるため、在学当時にはなかったものだが、建学の精神、校訓、は変わっていないため、目指すべき卒業時の人間像は不変と考えている。そのため現代のディプロマ・ポリシーの観点で振り返りを行って頂いた結果は、別紙 1 の通りであった。

ディプロマポリシー「主体性・チームワーク・責任感」「コミュニケーション能力」「思考力・判断力」「知識・理解」「技能・表現」は、「身についた」・「ほぼ身についた」が10人から12人（50%～60%）を占めており、「あまり身につかなかった」・「身につかなかった」が1人～5人（0.5%～25%）であり、半数以上の卒業生が、現代のディプロマポリシーと照らして、学びが有益であったとの回答をいただいた。

なお、「主体性・チームワーク・責任感」が身についたと感じるか及び「思考力・判断力」が身についたと感じるかについては、「身についた」・「ほぼ身についた」が11人（55%）で半数以上であったが、反面「身につかなかった」と明確に答えているのが3人（15%）おり、ディプロマポリシーの5項目の中では、これらの達成感が弱いことがわかる。

また、「コミュニケーション能力」が身についたかについては、「どちらともいえない」の回答が最も多く7人（35%）となり、達成度評価が難しい傾向があるようだ。

「知識・理解」が身についたと感じるかは、「どちらとも言えない」が3名（15%）と最も少なく、身についた人、身につかない人が比較的明確化された。

記述式回答では、在学中に受けた教育内容やサービス等について良かった点や現在の仕事に活かされている点については、礼儀作法を学べたことを評価する回答や「資格が取れて良かった」「英語の楽しさに目覚めた」等の評価や「講義で習ったことが実践で活かした。」「今の職場で活かされている」という回答もあれば、「教わったことで仕事に活かされているものは一つもない」といいながらも先生との出会いを肯定的に評価している回答もあった。

在学生へのメッセージでは、「今を思う存分楽しんでください」「勉強ができることはとても恵まれたことです」「夢に向かって頑張ってください」「貴重な2年間を大切にしてください」などの温かいメッセージもいただくことができた。

いずれにしろ回答数が3,182人のうちの20名（0.6%）からの結果であること。結論を出すにはあまりに少ない母数であり、かつ、無記名（所属学科、氏名が無記名）であるものが多く、学科別の集計・分析まで至らないという結果となった。

次回の卒業生アンケート実施に際しては、アンケートの回答数を増やす特別の取り組みが必要であると考えられる。

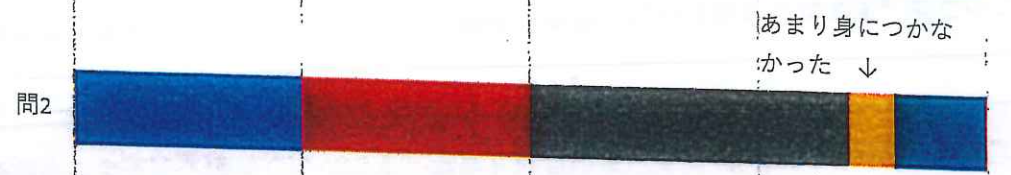
以上

# ディプロマポリシーアンケート

問1 主体性・チームワーク・責任感が身についたと感じるか



問2 コミュニケーション能力が身についたと感じるか



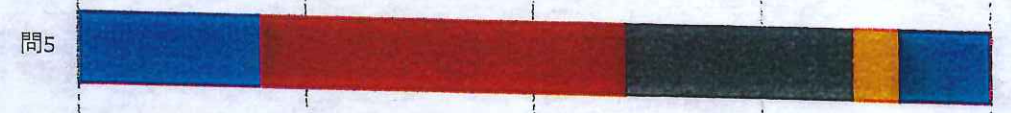
問3 思考力・判断力が身についたと感じるか



問4 知識・理解が身についたと感じるか



問5 技能・表現が身についたと感じるか



0 5 10 15 20

① ② ③ ④ ⑤

質問7.在学中に受けた教育内容やサービス等について良かった点や現在の仕事に活かされている点があればご記入ください。

教わったことは仕事に活かされているものは一つもない。しかし、短大でパソコンを自由にさわれる環境を快く用意してくれたので、それが、今につながっているのは確実。先生が気さくでとても付き合いやすかった。パソコンに詳しい先生と出会えたのは本当によかった。

特になし

食品の栄養について講義で習った事が実践で生かされた。

授業で鑑賞した「パレードへようこそ」「リトルダンサー」という映画や、その授業を担当していた先生の授業内容から学んだことが現在の私の人生に大きく影響しています。生きづらい社会の中でも、自分を曲げず貫くことで良き理解者たちと出会えるのだと実感しています。生きづらさから目を背けず向き合うことで、自分自身が救われるだけではなく他人をも救うことができる(というと大げさですが)のだと現在深く実感しています。その先生との出会いのおかげで、生きづらさから解放されより自分が生きやすい世界を自らの意思で選ぶことができる精神的な強さが身についたように思います。

先生方が親味になって指導して下さいます。

調理実習で習った基本的なことやレシピは今でも役に立っています。資格が取れたことは本当に良かったです。

栄養士の資格が取れたので、栄養士としては働いていませんが、食にかかわりのある仕事なので、栄養成分の知識などが活かされています。

介護福祉士の資格をとるときに、栄養面のことで生きました。利用者の方で糖尿病の方がいたり、食事形態がいろいろあるので、調理実習が多かったので、職場に入った時、あまり苦勞をしなかったです。

特になし

良い先生達に恵まれ、英語の楽しさに目覚めました。将来もっと英語を勉強したいです。学生とは良いチームワークができたと思います。

英文タイピングでキーボードの基本ポジションを学んだのは、今の仕事でもとても役に立っています。

さまざまな分野の勉強をしていたこともあり、今の職場で活かされています。まず第一に礼儀作法を学べたのは良かったです。どこへでも通用します！！

綺麗な人が多かったので、女性として身だしなみを整える大切さを学んだ。都会にあった学校だった為、洗練されたと思います。それがあったから、「就職超氷河期」と言われた時代に大手企業に務めることが出来たのだと思います。

マナーの授業が今の接客業にとっても役に立っている。

知好楽の精神。行き詰った時に思い出す言葉です。